

# カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 29 年 3 月 24 日
学校名	群馬大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	富澤 豊

実施概要	実施活動名	自分たちのカフェを身近な地域に開こう 「カフェ スマイル 若宮店」
	実施日時	平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月 10:00～12:20 (本校の教育課程による作業学習の時間帯を中心に行う)
	実施場所	群馬大学教育学部附属特別支援学校 作業訓練室
	実施目的	今年 11 月から校内に開店するカフェの取組において、学校所在地の地域の方々にご来店いただき、地域資源を活用した喫茶サービス班の生徒の学習支援を行うとともに、本校の児童生徒たちの学習の様子や取組についての理解や啓発を図ること。
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校高等部で取り組んできた前橋市中心商店街の「カフェ スマイル」の実践を、本校を拠点としたカフェの開店に生かし、学校所在地の地域の方々にも親しまれる「カフェ スマイル 若宮店」を開店する。</li> <li>ご来店いただく地域の方々への協力を仰ぎ、生徒とのかかわりが深まるような取組を行う。本活動とおして学んだことを、前橋市中心商店街の「カフェ スマイル」の実践に生かしていくことで、生徒が喫茶サービスの作業学習で身に付けた力を他の場面でも発揮できるようにする。</li> </ul>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>「カフェ スマイル」の取組を生かしつつ、高等部の生徒たちが自分たちで考えて、本校の教室を活用したカフェを開いていくようにする。</li> <li>地域の方々に来店された際に、本校喫茶サービス班の生徒たちの取組の様子をご覧いただき、生徒の学習が深まるような言葉掛けやアンケートの記入等をお願いする。このようにして、地域の方々とのかかわりが、生徒たちの成長につながるようにしていく。</li> <li>本校の小、中学部の協力を仰ぎ、児童生徒の授業の様子や児童生徒たちの作品等を掲示したり、作業学習で製作した製品をカフェで使用・販売したりする。また、地域の方々が取組まれている作品の掲示等も行う。このようにして、「カフェ スマイル 若宮店」を中心として、本校の児童生徒をはじめ、周辺の附属学校園の保護者や関係者、地域の住民の方々等が気軽に来店できて交流が生まれる場を作っていくことをとおして、本校の児童生徒に対する理解が深まるようにする。</li> </ul>	
参加人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校高等部喫茶サービス班生徒 5 名、教員 2 名</li> <li>前橋市若宮地区住民の方々、若宮地区周辺の住民の方々、附属学校園に在籍する園児児童生徒の保護者の方々等</li> </ul>	

報告事項	内容	<p>【9月初旬～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前橋市中心商店街での「カフェ スマイル」の作業学習を経験している生徒が、喫茶サービスの作業学習の経験のない生徒に学習集団のリーダーとして接客の仕方の手本を示したり、飲み物の作り方を教えたりすることで、仕事を引継ぎながら学習を進めていった。</li> </ul> <p>【10月中旬～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校の作業訓練室を、地域の方々の協力を得ながら生徒たちが学んでいく学習の場「カフェ スマイル 若宮店」として設定し、喫茶サービスの提供を行った。はじめは、地域の方々は来客者という立場で、一歩引いた様子で生徒たちとかかわっているようであった。しかし、常連客として何度も来校していただくことで、徐々に地域の方々が生徒のサービスの提供の仕方に関心を示してくださり、ホール担当の生徒の挨拶の仕方についてお褒めの言葉をかけてくださったり、よりよい挨拶の仕方を示唆してくださったりした。また、キッチン担当の生徒の活動にも関心をもってくださり、飲み物の作り方をよく観察して、手際の良さや機械の操作の様子を見て、励ましの言葉をかけてくださったりした。</li> <li>来校してくださった地域の方々に、喫茶サービス作業の学習集団に所属する生徒 5 名の特性を伝えたり、生徒へのかかわり方の配慮事項をテーブル上に提示したりして、意図的に生徒とかかわりながら、生徒たちに助言していただくことができた。</li> </ul> <p>【11月中旬～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10 月中旬からの取組を継続し、地域の方々をはじめ、本校卒業生を支援する会のスタッフ、校舎を併設する附属小学校の教員、本校来客者、群馬大学の教員等、様々な立場の方々にご利用いただいた。</li> </ul>
------	----	--

	<p>結果</p>	<p>【生徒にとって】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々が「カフェ スマイル 若宮店」を利用することで、前橋市中央商店街の「カフェ スマイル」と同様に、校内でも緊張感を持って喫茶サービスの提供を行うことができた。また、このような学習環境において、地域の方々から直接的に賞賛や激励、接客に関わるアドバイス等をいただくことで、生徒自身がその場で喫茶サービス作業における自分自身の行動を見つめ直し、次の接客や飲み物の提供に生かすことができた。</li> <li>・オープンキッチンの形態を取ることで、地域の方々に飲み物を作る生徒の学習活動も参観できる場を設定することができた。カウンター越しに地域の方々から言葉をかけられた生徒は、「ありがとうございます」「少々お待ちください」といった言葉で返す等、場や相手に応じたかかわり方ができるようになってきた。</li> <li>・校内の喫茶サービス作業で学習したことを、前橋市中心商店街の「カフェ スマイル」での活動につなげることで、これまでに喫茶サービスの作業学習の経験のない生徒が、どのお客様に対しても校内で行ってきたことを生かして接客をしたり飲み物を作ったりすることができた。</li> </ul> <p>【教員にとって】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々が来校された際に、事前に担当教師から短時間の打合せを行い、生徒の特性やかかわる上での配慮などを伝えることで、学習のねらいに沿って活動の中で生徒と意図的にかかわっていただくことができた。</li> </ul> <p>【来客者にとって（住民の方々、本校卒業生を支援する会のスタッフ、附属小学校教員等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校高等部の喫茶サービス作業班に所属する生徒たちとかわる中で、本校の教育活動の一部についてご理解いただきながら、学習活動に参加していただくことができた。定期的に訪れていただくことで、授業の中での生徒の成長や課題等、生徒の変容を見取ってください、事前の担当教諭との打合せをふまえて生徒に助言して下さる方が増えてきた。</li> </ul>
	<p>所感</p>	<p>今年度は地域の方々とかかわりながら、喫茶サービスの提供をととして生徒たちの学びを深めていくことを目指して実践に取り組んだ。特に、校内においても、学校近隣の地域の方々と定期的にかかわりながら生徒たちが学んでいく学習環境をつくることができた。そして、教師は地域の方々にとどのように生徒たちの学習に携わっていただくかを検討し、地域の方々には生徒たちの学習活動への助言者として意図的にかかわっていただくことができた。これにより、生徒たちは地域の方々とかかわりながら、自分自身の行動を見つめ直し、改善していこうとする気持ちを高めることができた。そして、校内での成果が前橋市中央商店街の「カフェ スマイル」も生かされ、自信をもってお客様からオーダーを取ったり、丁寧な言葉で接客をしたりすることにつながった。</p> <p>このようにして、校内と校外の実践をつなぎ、校内で学んだことを校外でも確実に生かして活動できる学習環境を今後も整えていくことが大切であると考えている。</p>
<p>添付書類</p>	<p>収支決算書、領収証添付シート、参加感想、活動の様子の写真 ホームページの掲載は可</p>	

群馬大学教育学部附属特別支援学校  
自分たちのカフェを身近な地域に開こう  
授業の様子

「カフェ スマイル 若宮店」の



看板の文字のレイアウトを相談する様子



自分で作った作品で店内の装飾をする様子



生徒同士で挨拶の声出しを行う様子



先輩から機器の操作を習って飲み物を作る様子



初めてお客様からオーダーを取る生徒



お客様のオーダーを確実に引き継ぐ様子



キッチンの様子を見学される地域の方



多くのお客様で賑わうフロア

## カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 3 月 24 日
学校名	群馬大学教育学部附属特別支援学校
学年	高等部

### 【喫茶サービス作業学習班（高等部）の生徒】

- ・たくさんのお客さんが来て、ドキドキしました。大きな声で「いらっしゃいませ」と言って、テーブルに案内できました。
- ・多くのお客さんが一度にいらした時は、キッチンのカップ洗いとコーヒーを作ることが忙しくて大変だったこともあります。間違えないように注文どおりにコーヒーを作ることができてよかったです。
- ・お客さんが飲み物を作るところを見ていて、緊張しました。先輩に教えてもらいながら、オレンジを搾ってジュースを作ることができました。
- ・はじめは、上手にお客様に話しかけることができませんでした。オーダーを取る途中で困っていると、お客様が次に話す台詞をカードで教えてくださり、オーダーを取ることができました。
- ・だんだんとお冷やを上手に注ぐことができるようになりました。お客さんが帰るとすぐにトレイを持って、カップやおしぼりなどを残さずに片付けるようになりました。先輩や友だちがお客様に「ありがとうございました」と挨拶をしているので、自分も「ありがとう」と言えるようになりました。

## カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 3 月 24 日
学校名	群馬大学教育学部附属特別支援学校

### 【保護者の感想】

- ・「前橋市中心商店街で行っている「カフェ スマイル」の取組が校内でも行われることについて、とても楽しみにしています。地域住民の方々とのかかわりを持ちながら学習が進んでいくことで、子どもたちがどのように成長していけるのか期待しています。」
- ・「初めて喫茶サービスの作業学習班に所属し、きちんとお客様に対応していけるのかどうか心配でしたが、実際にお客様からオーダーを取っている姿を見て安心しました。」
- ・「一定の量でお冷やを注ぐことはまだ難しいようですが、友だちとのかかわりの中で徐々に一定の量でお冷やを注いでいけるようになってほしいです。」
- ・「オープンキッチンで飲み物を作る担当でしたが、同じ作業学習班の先輩にジュースの使い方を教えてもらったり、自分の作った飲み物が運ばれて飲んでいただいている様子を見たりすることができて、本人も見通しをもって活動することができていたと思います。」
- ・「前橋市中心商店街で行っている『カフェ スマイル』と同じように、校内での喫茶サービスの学習でもお客様にしっかり挨拶したり、テーブルまでご案内したりしている様子を見て、いろいろな場面でできることが増えてきていると感じています。」

### 【来客者（住民の方々、本校卒業生を支援する会のスタッフ、附属小学校教員等）の感想】

- ・「いつも学校（校門）の前を通っていますが、初めて校舎の中に入りました。生徒たちが喫茶サービスの作業学習に真剣に取り組んでいる様子を見て、また立ち寄りたと思いました。」
- ・「はじめは上手にオーダーを取ることが難しかった生徒が、台詞が書いてあるカードを読んだり、徐々にカードを読まなくてもオーダーを取ることができるようになったりして、生徒たちが学習して成長していく様子がよく分かりました。」
- ・「小さい子（乳児）にも優しく接していただき、とても嬉しかったです。」
- ・「生徒さんが飲み物を作っている様子を見せてもらい、連れてきた子どももとても興味深そうでした。オレンジの絞りたてのジュースをその場で飲めるのが嬉しいです。」
- ・「学校でもいろいろな方々とかかわりながら、学習していける環境を作っていることは大切ですね。この取組が広がって、卒業生も使えたらいいなと思います。」